

121002 カマキリのハンティング

秋を迎え、「カマキリ」たちも立派に成長しました。

「オオカマキリ」では、一つの卵鞘から100匹を超える幼虫が孵化するようですが、その内、無事に成虫にまで成長できるのはわずか1%だと言われています…

ということは、成虫のカマキリに出会った際には、激戦？を勝ち抜いた“すごい奴”として敬意を払って接する必要があるのかも知れませんね…

今回は、南河内の里山で出会った、ハンティング中の「オオカマキリ」と、葉っぱの上でくつろいでいた「ヒメカマキリ」を紹介します。

◆写真①～④： 頭上の葉に「ヤマトシリアゲ」が…

◇獲物を待ち構えていた「オオカマキリ」、頭上の葉に「ヤマトシリアゲ」の雌が飛んできてとまりました。

◇そろりそろりと気配を消しながら近づいていきます。

◆写真⑤： ハンティング失敗…

◇カマキリの接近に気づいたのかどうかわかりませんが、獲物（シリアゲ）は逃げて行ってしまいました…

◆写真⑥： 逃げられたカマキリは…

◇「ちっ」と舌打ちしているように見えました。

◇ちなみにこの個体、体長は8cm以上ありました。

◆写真⑦・⑧： ヒメカマキリ

◇葉っぱの上に「ヒメカマキリ」がいました。

◇体長は3cmくらいです。

◆写真⑨： ヒメカマキリの顔

◇何とも不思議な目をしていますね…

◇この種は、人の気配に非常に敏感で、すぐに草むらの中へ跳び降りたり、飛翔して逃げていきますので、ここまで顔を接写することはなかなか難しいです。

◇ちなみにこの種は、京都府のRDBで「準絶滅危惧種」に分類されています。

















